



#02

フレイク・ラブ

著：監澤たすく

イラスト：(C)改めかもめ遊羽



目の前には澄んだ瞳でじつと俺を見つめる女の子がいる。
栗色の滑らかな長い髪と、薄く紅をひいた肉感的な唇が印象的だ。

その容姿は、どこぞのファッション誌のカバーを飾ってもおかしくないくらい綺麗で、可憐だ。美少女といっついでいいだろう。

だが彼女は嘘だ。それは俺が一番よく知っている。なぜなら――

「うっおー、潤ちゃん化けたねー。これ、全然女子高生でいけんじゃね？」

俺の目の前の鏡に映った美少女の正体は、クソ姉貴に女装された俺自身だからだ！

「ざっけんな、クソ姉！ カットモデルするだけって約束だったろうが!？」

閉店後の美容室「L」。

店内にいるのは俺と姉貴の二人だけだった。

「いーじゃん、いーじゃん。どーせ誰もいないんだし。同じカットするならむっさい男より可愛い女の子のほうがいいに決まってるでしょ」

「俺は男だ！」

姉貴は悪びれる様子もなく、俺の髪を霧吹で湿らせ、手慣れた様子で梳き始めた。ちなみに肩まで伸びたこの長髪は嘘ではなく本物だ。

「それにしても可愛いな〜まさかここまでとはね〜。そっだ潤ちゃん、あたしとデートしよう

ぜ！ 駅前のプリルラのスフレとか超うまいんだから！ ね、潤子ちゃんも食べたいでしょ〜？」

「誰が『潤子』ちゃんだ！ 一人で勝手に食って一人で豚になれ！」

カットモデルっていうから散髪代浮くし、まあいつかぐらいの気持ちで来たのに……大誤算だったぜ。

それにしてもあの野郎、ノリノリでメイクしてたけど、これすぐ落ちんだろうな？ このままの顔で帰るのは絶対ごめんだからな。

「あ、美樹ちゃん」

「！」

姉貴の声につられて鏡で後ろを確認すると……そこには見知らぬショートカットの、眼鏡の女の子がいた。姉貴の口調からしてLの従業員なのだろう……っていうか、他に人いたのかよ、最悪じゃん！ 姉貴だけでも超羞恥プレイだったのに、なんで赤の他人にまでこんな姿を見られなきゃいけないんだよ……！

つてか、もしかして今までの姉貴とのやりとり聞かれてたんじゃ……。

「きれい……」

「え？」

美樹ちゃんと呼ばれた少女がため息混じりにそう呟いた……つていうか、きれい、つても

しかして俺のこと……ですか？

ということはまだ俺、男って気づかれてない？ 女って思われてる???

「そうだ、美樹ちゃん！ 潤子ちゃんの髪カットしてあげてよ！」

「んあっ!？」

はじけるような笑顔でとんでもない提案をするクソ姉貴！

(ふざけんなああああ!! 何考えてんだ、てめえええええ!!)

こっちは声を出すと男だとはれてしまうので抗議することもできない……!!

視線で人が殺せるほど目ヂカラを込めて姉貴を睨みつけてやるが、まったく効果がない。

「じゃ、あとはよろしくね、美樹ちゃん！」

「あ、はい……」

まじかよ、まじで奥に引つ込みやがったよ、あのクソ姉貴……。

「美樹ちゃん」が俺におすおすと近づいてくる。そりゃいきなり押し付けられたら迷惑だよな。

姉貴を呼ぼうにも声は出せないし……あー、どうすりゃいいんだ！

「あの……どんな感じにカットなさいますか？」

「!」

眼鏡の奥から覗き込むように、背後から「美樹ちゃん」が訊いてくる。背中にふんわりと甘

い良い香りが漂ってきた。

ど、どうしよう……!!

「——」

「え？ あ、はい、このサンプルみたいな感じですね？」

俺は苦し紛れに手近にあったマネキンを指さした。思いっきり女のマネキンだったが、彼女

は何の疑問も持たずに納得したようだ。

てか、黙って人をあごで使うって超感じ悪くね？ 俺……。

ふと鏡を見るとバックヤードから顔だけ出してにやにやとこちらを見ているクソ姉貴と目が

あった。

っざけんなよ、てめえ！

何い顔してサムズアップしてやがんだ！ まじ殺すぞ!?

静かな店内には規則的なリズムを刻むハサミの音だけが淡々と響き続ける。

あー、もうだめだ！

緊張と恥ずかしさがごちゃ混ぜになってもう爆発しそうだ！ 早くゲロして楽になりたい！

「「「めんなさー!」」」

え？

俺の声と彼女の声が重なった？

鏡をみると、ハサミとクシを持ったまま、真^まっ赤な顔でもじもじする「美樹ちゃん」の姿があった。

「あの、あたし潤くんのこと、一目見てからずっと好きで……それで翔子^{しょうこ}さんに頼んで、会わせてもらって、でもあたし本当は男の人とか苦手だから、そうしたら翔子さんが話しやすくしてくれるって言って、でもそれが女装だなんて知らなくて、でもあんまり綺麗だからあたしどうしていいか判らなくなっちゃって……」

沈黙^{ちんもく}。

「あの……潤くんは年上の彼女とか……いやですか？」

しばらくの静寂^{せいじやく}のあと、彼女は消え入りそうな声でそう言った。

クソ姉貴。

自己チューウでわがままで自分勝手に最悪な女だけど……今なら、スフレ1個ぐらい奢^{おご}ってやらんこともないぜ。

チクシヨウ。

おしまい